

都市再生整備計画 事後評価シート

史都多賀城中心拠点地区 (地方都市リノベーション事業)

平成29年3月

宮城県 多賀城市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	多賀城市	地区名	史都多賀城中心拠点地区(地方都市リノベーション事業)			面積	167.7ha
交付期間	平成25年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	4,028.2百万円	国費率	0.5		

1) 事業の実施状況		当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
		基幹事業	提案事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		【道路】(地方道(改築))東能ヶ田岡田線(第一下馬踏切)・新田中西能ヶ田線、(駅前広場)多賀城駅南口駅前広場、【高質空間形成施設】多賀城駅南口歩行空間、【地方都市リノベーション推進施設】(社会福祉施設(老人デイサービスセンター))多賀城駅北地区・(子育て支援施設(保育所))多賀城駅北地区・(教育文化施設(図書館))多賀城駅北地区・(商業施設(書店、カフェ、レストラン))多賀城駅北地区、【市街地再開発事業】多賀城駅北地区							
		当初計画から削除した事業		地方都市リノベーション推進施設子育て支援施設(保育所)多賀城駅北地区		補助金組替による対象事業からの削除、関連事業に位置づける		他の補助金を活用し事業は実施され、関連事業として位置づけられることから、目標値は据え置くものとする	
		新たに追加した事業		-		-		-	
		交付期間の変更		当初変更		平成25年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
				-		-		-	

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	多賀城駅周辺における利便性、快適性(道路、駅周辺)の満足度	%	14.3	H24	30.0	H27		17.9	△	あり	多賀城駅周辺の基盤整備事業の進捗により、市民満足度は増加し、事業効果は一定程度発現した。H27末の目標値には至っていないが、多賀城駅周辺土地区画整理事業等の進捗とともに、満足度も高まっていくことが期待される。	平成30年2月
指標2	相談できる人がいる高齢者の割合	%	77.4	H23	80.0	H27		86.4	○	あり	東日本大震災以降、生活再建サポート等により、行政と高齢者などが関わる機会が増えたことにより、相談できる人がいる高齢者の割合が高い水準を維持している。さらに、H28.4には、老人デイサービスセンターなどが整備されたことから、より一層身近で効率的に利用できる福祉サービスの展開が期待される。	平成30年2月
指標3	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合	%	66.3	H23	70.0	H27		64.6	×	あり	東日本大震災により保育園が閉鎖されるなど、社会情勢の変化により、評価値は変動しており、H27末の評価値は、従前値をやや下回った。その後、H28.4には子育て支援施設や保育所等が整備されたことから、子育て支援環境の満足度も高まっていくことが期待される。	平成30年2月
指標4	中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合	%	2.0	H20	25.0	H27		-	(評価できず)	あり	平成19年度より、中心市街地活性化協議会の設立に向け検討会等を実施し、平成20年10月の事業開始前に住民アンケートを実施するものの、東日本大震災により事業を休止したことに伴い、その後のアンケート調査は行われておらず、評価値が得られなかった。なお、「その他の数値指標3」及び「その他の数値指標4」は、指標4の中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合が評価できなかったことから、事業の効果があつたことを補完して示すものである。	
指標5	図書館利用者(貸出者)数	人	89,350	H22	111,000	H27		143,239	○	あり	多賀城駅周辺の一体的な基盤整備が進み、また、地方都市リノベーション事業による複合施設(図書館に書店、カフェ、レストランが併設)が整備されたことにより、図書館の利用者数が増加し、目標を上回る結果になった。	

	指標		従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り換えのスムーズさ)の満足度	%	13.3	H21			22.3			従前値よりも駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り込みのスムーズさ)を感じる人の割合は増加している。今後の整備により、駅前広場や歩行空間の整備による駅周辺のターミナル機能や回遊性、道路整備による周辺地区からのアクセス性、歩行空間の安全性が向上し、駅や駅前広場の利便性の満足度向上につながる事が期待される。(H29.6に南口駅前広場が完成予定)	
	その他の数値指標2	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合(東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区)	%	69.0	H21			74.2			従前値よりも東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区における安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合は増加している。今後も、駅近くに図書館、書店等の整備や保育所や子育て支援施設が開設されたことにより教育文化・子育て支援の充実が図られ、子育て環境の満足度向上につながる事が期待される。	
	その他の数値指標3	多賀城駅周辺における歩行者数	人	15,373	H20			22,805			市立図書館や子育てサポートセンターなどの施設が整備され、様々な年代の人が集うことのできる場が出来、来街者が増えたことにより、にぎわいと活気あふれるまちなみが形成されている。	
	その他の数値指標4	中心市街地整備の満足度	%	9.6	H24			20.2			従前値よりも中心市街地の整備の満足度を感じる人の割合は増加している。多賀城駅周辺に、市立図書館・書店・カフェ・レストラン、子育てサポートセンターなどの施設が整備され、交流や賑わいの場として豊かな市民活力を形成していく拠点が形成されたことにより、中心市街地の整備の満足度向上につながる事が期待される。(H29.6に南口駅前広場が完成予定)	
4) 定性的な効果発現状況	<p>①本事業で実施した多賀城駅北地区第一種市街地再開発事業が、一般財団法人都市みらい推進機構主催の「平成28年度土地活用モデル大賞」において、審査委員長賞を受賞した。</p> <p>②多賀城市立図書館の移転開館の前日の平成28年3月20日の河北新聞において、オープン記念特集が組まれるなど、オープン前より注目されていた。加えて、オープン以降も毎日新聞、河北新報等の各種メディアで取り上げられ、多賀城市立図書館への注目度が高まっている。</p> <p>③平成28年12月末で、当初予定より3カ月も早く多賀城市立図書館の来館目標者数120万人を突破した。</p> <p>④本事業と連動し実施してきた仙石線多賀城地区連続立体交差事業が、第28回全国街路事業コンクールで、優秀賞を受賞した。</p>											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 多賀城駅前市街地再開発に関する住民アンケートの実施 *1) 駅周辺事業に関わる地権者説明会の実施 *2) 市民まちづくりアンケートの実施 *3) 		<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた ● *2) 3) 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● *3) 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ● *1) 				<ul style="list-style-type: none"> *2)事業実施にあたって、事業に対する理解を深めてもらうための取り組みを行っていく *3)市民まちづくりアンケートは、継続的に実施し、市民意識、施設整備等のニーズを把握していく予定 				
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 多賀城駅前を中心とした街の活性化事業の実施 TAGAYASUプロジェクトの展開 		<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 				引き続き活動の支援を行っていく。					

様式2-2 地区の概要

史都多賀城中心拠点地区(宮城県多賀城市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	目標値		評価値		
○大目標: 史都多賀城中心拠点地区に、進む少子高齢化・核家族化に対応しコンパクトで、にぎわいと活力あふれるまちなみを形成する。 ・目標1: 中心拠点区域(多賀城駅周辺)と周辺住宅地との交通結節機能、及び中心拠点区域内の回遊性向上にむけた基盤整備を進める。 ・目標2: 中心拠点区域に市民が集う憩いの場として、図書館とカフェ機能を備えた書店等を集約し、にぎわいと活力あふれるまちなみ形成に繋げる。	多賀城駅周辺における利便性、快適性(道路、駅周辺)の満足度	%	14.3	H24	30.0	H27	17.9	H27
	相談できる人がいる高齢者の割合	%	77.4	H23	80.0	H27	86.4	H26
	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合	%	66.3	H23	70.0	H27	64.6	H27
	中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合	%	2.0	H20	25.0	H27	—	—
	図書館利用者(貸出者)数	人	89,350	H22	111,000	H27	143,239	H27
まちの課題の変化	<p>【より一層身近で、効率的に利用できる福祉・子育て支援サービスの提供が求められている。】</p> <p>・中心拠点区域に複合施設B棟として、高齢者福祉施設及び子育て支援に関するサービス機能(施設)を集約することが出来たことから、より一層身近で、効率的に利用できる福祉・子育て支援サービスの展開が可能な拠点が形成された。</p> <p>【都市の中心である多賀城駅周辺に交流や賑わいの場として豊かな市民活力を支えていく拠点を形成し、都市機能の集積を高めていくことが求められている。】</p> <p>・中心拠点区域に複合施設A棟として、市立図書館、カフェ機能付き書店、レストランの立地により、人の滞留、交流人口が増加し、交流や賑わいの場として豊かな市民活力を支えていく拠点が形成された。また、この拠点を中心として、多くの人が集い交流する場としての活用がはじまり、この拠点が立地する中心市街地には、市内だけでなく多くの来訪者が訪れるようになった。</p> <p>【誰もが移動しやすい交通体系を構築することが求められていることが求められている。】</p> <p>・多賀城駅北口・南口駅前の歩行空間を整備することにより、街なみ景観にも配慮され、バリアフリー化された歩行空間となった。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>・市立図書館と書店などが入居する複合施設を中心として、国内屈指の音響施設を誇る「音楽ホール」を有する文化センター、東北歴史博物館、特別史跡多賀城跡・庚寺跡及び歌枕の地等を結ぶ歩行者ネットワーク等の整備、案内所や観光ガイドの設置等の来街者に対するおもてなしの体制強化が必要である。</p>							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【効果を持続させるために行う方策】</p> <p>①複合施設の利用促進と利用満足度の向上</p> <p>・複合施設において提供している各種サービスについて、積極的な情報提供を行うとともに、定期的に改善活動を実施することで、施設利用の促進と利用者の満足度向上に努める。</p> <p>②まちの更なる魅力向上</p> <p>・駅周辺の交流人口増加のため、民間団体と連携し、多賀城駅周辺活性化事業を推進する。また、整備された空間を活用したまちづくり活動を支援することで、人づくりを行う。</p> <p>【改善策】</p> <p>①子育てサポート・保育サービスの充実</p> <p>・平成28年に複合施設に移転した子育てサポートセンター(すくびーひろば)を地域の子育て拠点施設として、利用者の声を踏まえながら機能を充実させ、子育て家庭の孤立化を防ぎ、周囲の理解と協力を得ながら楽しく子育てが出来る環境作りを行う。</p> <p>②都市機能の集約化</p> <p>・「商業機能集積補助金」の活用等により、駅周辺へ出店する事業者を増やし、駅周辺の利便性を高めることで、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>・土地区画整理事業を確実に完了することで、都市基盤のさらなる強化を図り、居住環境の向上により街の魅力を高める。</p> <p>③文化交流拠点を核としたまちづくりの推進</p> <p>・観光案内板の設置により、文化交流拠点間を迷わずに目的地に行くことが出来る等、利便性が高まり、観光しやすいまちの創出に努める。</p> <p>・本地区は多賀城市景観計画において景観重点区域に指定されており、景観計画に示される地域のデザインコンセプト等に従い、景観の創出を図る。</p>							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	地方道(改築)	78	東能ヶ田隅田線(第一下馬踏切) L=150m	78	東能ヶ田隅田線(第一下馬踏切) L=150m			●	
	地方道(改築)	267	新田中西能ヶ田線 L=420m	267	新田中西能ヶ田線 L=420m				● (H29.5月完成予定)
	駅前広場	300	多賀城駅南口駅前広場 A=4,600㎡	300	多賀城駅南口駅前広場 A=4,600㎡				● (H29.6月完成予定)
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設		50	多賀城駅南口歩行空間 A=285㎡	50	多賀城駅南口歩行空間 A=285㎡				● (H29.6月完成予定)
高次都市施設									
地方都市リノベーション推進施設	社会福祉施設(老人デイサービスセンター)	165,588	多賀城駅北地区 597㎡	115,469	多賀城駅北地区 627㎡	床価格の精査による事業費の変更	影響なし	●	
	子育て支援施設(保育所)	218,998	多賀城駅北地区 755㎡	-	-	補助金組替による対象事業からの削除	数値指標3「安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者の割合」に間接的に影響するが、目標値は据え置くものとする。	-	
	教育文化施設(図書館)	910,218	多賀城駅北地区 3,172㎡	1,427,426	多賀城駅北地区 3,450㎡	設計変更、店舗数の増による事業費の変更	影響なし	●	
	商業施設(書店、カフェ、レストラン)	899,250	多賀城駅北地区 2,842㎡	857,905	多賀城駅北地区 2,094㎡	店舗数の減による事業費の変更	影響なし	●	
市街地再開発事業	市街地再開発事業多賀城駅北地区	5,237,237	多賀城駅北地区 0.8ha	6,254,237	多賀城駅北地区 1.0ha	駐車場の編入による事業費の変更	影響なし	●	
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
道路事業(街路)		高崎大代線 L=350m	801	801	平成13年度～平成26年度	平成13年度～平成26年度	完了	
道路事業(街路)		駅西小路線 L=330m	556	556	平成16年度～平成26年度	平成16年度～平成26年度	完了	
関連社会資本整備事業(道路)		史都中央通線 L=140m	210	210	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度	完了	
効果促進事業		JR仙石線高架下駐輪場 A=1,430㎡	184	184	平成23年度～平成25年度	平成23年度～平成25年度	完了	
土地区画整理事業(道路・都市再生)		多賀城駅周辺地区 8.2ha	7,973	7,973	平成11年度～平成28年度	平成11年度～平成28年度	完了	
保育所緊急整備事業		多賀城駅北地区 599㎡	-	151	-	平成27年度	完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	見込み	達成度	事後評価	あり	なし		
指標1	%	まちづくりアンケートにおける、多賀城駅及び周辺の利便性や快適性(道路、駅周辺)の満足度			14.3	H24	30.0	H27	モニタリング			モニタリング			●
									事後評価	確定見込み ●	17.9	事後評価	△		
指標2	%	第5次総合計画上の目標として、健康、介護等日常生活上の悩みを相談できる人がいる高齢者の割合			77.4	H23	80.0	H27	モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	86.4	事後評価	○		
指標3	%	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合			66.3	H23	70.0	H27	モニタリング			モニタリング		●	
									事後評価	確定見込み ●	64.6	事後評価	×		
指標4	%	中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合			2.0	H20	25.0	H27	モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	-	事後評価	-		
指標5	人	図書館における年間利用者(貸出者)数			89,350	H22	111,000	H27	モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	143,239	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	多賀城駅周辺の整備により、一定程度の効果が見られるものの、目標達成には至っていない。駅周辺整備は継続しているが、評価値のトレンドを考慮すると、1年以内での達成は見込めないと判断した。	
指標2	高齢者福祉施設の設置や集約を実施したことにより、多賀城市として高齢者への生活支援が充実し数値目標の達成に至っている。	
指標3	東日本大震災により保育園が閉鎖されるなど、社会情勢の変化により、評価値は変動しており、H27末の評価値は、従前値をやや下回った。しかし、H28.4には子育て支援施設や保育所等が整備されたことから、その効果の大きさを鑑み、1年以内で達成が見込めると判断した。	
指標4	中心市街地活性化事業の中でアンケート調査を実施していたが、当該事業が休止となり、アンケート調査が実施できなくなったため評価できなかった。	
指標5	図書館に書店、カフェ、レストランが併設された市民の憩いの場としての整備により、来館者数が増加し、数値目標の達成に至っている。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
				基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	数値		
その他の数値指標1	駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り換えのスムーズさ)の満足度	%	まちづくりアンケートにおける、駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り換えのスムーズさ)に関して満足している(どちらかといえば満足含む)市民割合		13.3	H21	モニタリング	事後評価	● 22.3	「その他の数値指標1」は、指標1の多賀城駅周辺における利便性、快適性(道路、駅周辺)が目標値に至らなかったが、事業の効果があつたことを補完して示すものである。
その他の数値指標2	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合(東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区)	%	まちづくりアンケートにおける、東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区の安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合		69.0	H21	モニタリング	事後評価	● 74.2	「その他の指標2」は、指標2の全市を対象とした安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合が目標値には至らなかったことから、事業が実施された地区を対象とした同項目の集計値により、事業の効果があつたことを補完して示すものである。
その他の数値指標3	多賀城駅周辺における歩行者数	人	平日の午前7時から午後7時までの12時間において、多賀城駅周辺の歩行者数を測定		15,373	H20	モニタリング	事後評価	● 22,805	「その他の数値指標3」は、指標4の中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合が評価できなかったことから、事業の効果があつたことを補完して示すものである。
その他の数値指標4	中心市街地整備の満足度	%	まちづくりアンケートにおける、中心市街地の整備に関して満足している(どちらかといえば満足含む)市民割合		9.6	H24	モニタリング	事後評価	● 20.2	「その他の数値指標4」は、指標4の中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合が評価できなかったことから、事業の効果があつたことを補完して示すものである。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ① 本事業で実施した多賀城駅北地区第一種市街地再開発事業が、一般財団法人都市みらい推進機構主催の「平成28年度土地活用モデル大賞」において、審査委員長賞を受賞した。
- ② 多賀城市立図書館の移転開館の前日の平成28年3月20日の河北新聞において、オープン記念特集が組まれるなど、オープン前より注目度は高かった。加えて、オープン以降も毎日新聞、河北新報等の各種メディアで取り上げられ、多賀城市立図書館への注目度が高まりつつある。
- ③ 平成28年12月末で、当初予定より3カ月も早く多賀城市立図書館の来館目標者数120万人を突破した。
- ④ 本事業と連動し実施してきた仙石線多賀城地区連続立体交差事業が、第28回全国街路事業コンクールで、優秀賞を受賞した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
・多賀城駅前市街地再開発に関する住民アンケートの実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由 平成19年度より、中心市街地活性化協議会の設立に向け検討会等を実施し、平成20年10月に中心市街地のまちづくりに関する住民アンケートを実施するものの、東日本大震災により事業を休止したことに伴い、その後のアンケート調査は行われなかった。)	●	—
・駅周辺における事業に関わる地権者説明会の実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	●	○駅周辺における事業(市街地再開発事業、JR仙石線連続立体交差事業、土地区画整理事業に関する事業に対する理解を深めてもらうため、地権者等に対する説明会を開催した。 ・実施時期：平成17年度から平成27年度において計14回実施
・市民まちづくりアンケートの実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	●	○市民まちづくりアンケートを通じて、中心市街地である本地区における市民意識、ニーズ等を確認した。 ・実施時期：平成25年度～毎年1回 ・回答者数：平成25年度：1,687人、平成26年度：1,557人、平成27年度：1,513人

事業実施にあたって、事業に対する理解を深めてもらうための取り組みを行っていく

継続的に実施し、市民意識、施設整備等のニーズを把握していく予定

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
・多賀城駅前を中心とした街の活性化事業の実施	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>● 多賀城駅前におけるイルミネーション事業「悠久の詩都の灯」や「多賀城ピアサミット」等のイベント開催を通じた街の活性化事業に関わる支援を行った。</p>	<p>○TAP多賀城 (JR多賀城駅前をまちの中心と位置づけをして、周辺を含めた賑わいの活性化を図れるよう、市民が足を運び、または市民が企画から携わり、自らの手で関わりを持って達成してもらい、立案側と来場側が一体となってワクワク出来る“まちづくり”を目指す)</p>	引き続き活動の支援を行っていく。
・TAGAYASUプロジェクトの展開	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した ●</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>	<p>● 「多賀城」×「心を耕す」＝ 「TAGAYASU」:文化があふれ、人々が心を耕し続けることができる場所のこと。 多賀城Community Caféでは、多賀城でやってみたいことを募るワークショップを開催したり、月1回ゲストを招き、多賀城を盛り上げるためのディスカッションの場を重ねた。</p>	<p>○多賀城 Community Café (多賀城近隣で暮らす若い世代をメインターゲットとしたコミュニティカフェを開催し、そこで刺激を受けながら、互いの個性を尊重し、地域を良くするために協力しあうことのできるソーシャルキャピタルの構築を目指す)</p>	引き続き活動の支援を行っていく。
	<p>予定どおり実施した</p> <p>予定はなかったが実施した</p> <p>予定したが実施できなかった (理由)</p>			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	建設部 復興建設課 建設部 市街地整備課 建設部 道路公園課 建設部 都市計画課	平成29年2月15日(水)	多賀城市 建設部 都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2	指標5	その他の指標1	その他の指標2			
指標名		相談できる人がいる高齢者の割合	図書館利用者(貸出者)数	駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り換えのスムーズさ)の満足度	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合(東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区)			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	道路(地方道(改築))東能ヶ田隅田線(第一下馬踏切)	-	東日本大震災以降、生活再建サポート等により、行政と高齢者とが関わる機会が増えたことにより、相談できる人がいる高齢者の割合が高い水準を維持しています。さらに、H28.4には、老人デイサービスセンターなどが整備されたことから、より一層身近で効率的に利用できる福祉サービスの展開が期待される。	多賀城駅周辺の一体的な基盤整備が進み、また、地方都市リノベーション事業による複合施設(図書館に書店、カフェ、レストランが併設)が整備されたことにより、図書館の利用者数が増加し、目標を上回る結果になった。	◎	従前値よりも駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り込みのスムーズさ)を感じる人の割合は増加している。今後の整備により、駅前広場や歩行空間の整備による駅周辺のターミナル機能や回遊性、道路整備による周辺地区からのアクセス性、歩行空間の安全性が向上し、駅や駅前広場の利便性の満足度向上につながることを期待される。(H29.6に南口駅前広場が完成予定)	-	従前値よりも東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区における安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合は増加している。今後も、駅近くに図書館、書店等の整備や保育所や子育て支援施設が開設されたことにより教育文化・子育て支援の充実が図られ、子育て環境の満足度向上につながると期待される。
	道路(地方道(改築))新田中西能ヶ田線	-			△			
	道路(駅前広場)多賀城駅南口駅前広場	-			○			
	高質空間形成施設多賀城駅南口歩行空間	-			○			
	地方都市リノベーション推進施設社会福祉施設(老人デイサービスセンター)	◎			-			
	地方都市リノベーション推進施設教育文化施設(図書館)	○			-			
	地方都市リノベーション推進施設商業施設(書店、カフェ、レストラン)	○			-			
市街地再開発事業多賀城駅北地区	-	◎						
提案事業								
関連事業	道路事業(街路)高崎大代線	-		○				
	道路事業(街路)駅西小路線	-		◎				
	関連社会資本整備事業(道路)史都中央通線	-		○				
	効果促進事業JR仙石線高架下駐輪場	-		◎				
	土地区画整理(道路・都市再生)多賀城駅周辺地区	-		◎				
保育所緊急整備事業多賀城駅北地区	-		○			◎		

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標2	指標5	その他の指標1	その他の指標2
引き続き高齢者福祉サービスの向上に努め、いつまでも住み慣れた場所として生活できるようにする。	来訪者の増加、広域交流の拡大を促進する拠点としての魅力を高める。	公共交通ターミナルとして、誰もが移動しやすい環境を維持するため、適切な維持管理を実施する。	駅周辺の居住者だけでなく、通勤等により駅を利用する子育て世代等の幅広い利用者にとって、身近な施設となるようにする。	

指標の種別		その他の指標3		その他の指標4					
指標名		多賀城駅周辺における歩行者数		中心市街地整備の満足度					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(地方道(改築))東能ヶ田隅田線(第一下馬踏切)	○	市立図書館や子育てサポートセンターなどの施設が整備され、様々な年代の人が集うことのできる場が出来、来街者が増えたことにより、にぎわいと活気あふれるまちなみが形成されている。	-	従前値よりも中心市街地の整備の満足度をを感じる人の割合は増加している。多賀城駅周辺に、市立図書館・書店・カフェ・レストランや子育てサポートセンターなどの施設が整備され、交流や賑わいの場として豊かな市民活力を形成していく拠点が形成されたことにより、今後、中心市街地の整備の満足度向上につながる事が期待される。(H29.6に南口駅前広場が完成予定)				
	道路(地方道(改築))新田中西能ヶ田線	△		△					
	道路(駅前広場)多賀城駅南口駅前広場	○		○					
	高質空間形成施設多賀城駅南口歩行空間	○		○					
	地方都市リノベーション推進施設社会福祉施設(老人デイサービスセンター)	○		◎					
	地方都市リノベーション推進施設教育文化施設(図書館)	◎		◎					
	地方都市リノベーション推進施設商業施設(書店、カフェ、レストラン)	◎		◎					
市街地再開発事業多賀城駅北地区	○	◎							
提案事業									
関連事業	道路事業(街路)高崎大代線	-		-					
	道路事業(街路)駅西小路線	○		-					
	関連社会資本整備事業(道路)史都中央通線	○		○					
	効果促進事業JR仙石線高架下駐輪場	◎		◎					
	土地区画整理(道路・都市再生)多賀城駅周辺地区	○		○					
	保育所緊急整備事業多賀城駅北地区	○		◎					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	ソフト施策の充実によるまちの魅力の増大に努める。また、基盤整備を進め、居住・商業・業務・文化・医療・福祉などの都市機能の集積をさらに推進させ、複合施設機能を活用した、子どもから高齢者まで幅広い年代による交流と、にぎわい創出拠点の実現に努める。	中心市街地において、ソフト施策の充実を図り、来訪者の増加、広域交流の拡大を促進する拠点としての魅力を高める。		
-------	---	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標3			指標4		
指標名		多賀城駅周辺における利便性、快適性(道路、駅周辺)の満足度			安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合			中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路(地方道(改築))東能ヶ田隅田線(第一下馬踏切)	△	多賀城駅周辺の基盤整備事業の進捗により、市民満足度は増加し、事業効果は一定程度発現している。H27末の目標値には至らなかったが、多賀城駅周辺土地区画整理事業等の進捗とともに、満足度も高まっていくことが期待される。	Ⅲ	-	東日本大震災により保育園が閉鎖されるなど、社会情勢の変化により、評価値は変動しており、H27末の評価値は、従前値をやや下回った。その後、H28.4には子育て支援施設や保育所等が整備されたことから、子育て支援環境の満足度も高まっていくことが期待される。	Ⅲ	-	平成19年度より、中心市街地活性化協議会の設立に向け検討会等を実施し、平成20年10月の事業開始前に住民アンケートを実施するものの、東日本大震災により事業を休止したことに伴い、その後のアンケート調査は行われておらず、評価値が得られなかった。	Ⅲ
	道路(地方道(改築))新田中西能ヶ田線	△			-					
	道路(駅前広場)多賀城駅南口駅前広場	△			-					
	高質空間形成施設多賀城駅南口歩行空間	△			-					
	地方都市リノベーション推進施設社会福祉施設(老人サービスセンター)	△			-					
	地方都市リノベーション推進施設教育文化施設(図書館)	△			△					
	地方都市リノベーション推進施設商業施設(書店、カフェ、レストラン)	△			△					
	市街地再開発事業多賀城駅北地区	△			-					
提案事業										
関連事業	道路事業(街路)高崎大代線	△			-			-		
	道路事業(街路)駅西小路線	△			-			-		
	関連社会資本整備事業(道路)史都中央通線	△			-			-		
	効果促進事業JR仙石線高架下駐輪場	△			-			-		
	土地区画整理(道路・都市再生)多賀城駅周辺地区	△			△			-		
	保育所緊急整備事業多賀城駅北地区	△			△			-		

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	多賀城駅周辺土地区画整理事業の確実な事業完了を目指す。	地方都市リノベーション事業で整備された施設を活用し、多様な子育て世代が気兼ねなく利用できる空間づくりや、子育て相談・講座の開設等の運営面での配慮による機能の追加・向上により、利用環境の充実、また利用者満足度の向上に努める。	各種公共事業の確実な実施とあわせて、住民・NPO等によるイベントを実施するなど、官民協働で中心市街地の賑わい創出を目指す。
------------------	-----------------------------	---	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会議	建設部 復興建設課 建設部 市街地整備課 建設部 道路公園課 建設部 都市計画課	平成29年2月15日(水)	多賀城市 建設部 都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
今後益々進む少子高齢化・核家族化に伴い、増加する高齢者のみの世帯における介護負担の増大や、共働き家庭の増加や就労形態の多様化による子育て支援需要の増加が見込まれ、より一層身近で、効率的に利用できる福祉・子育て支援サービスが求められている。	中心拠点区域に複合施設B棟として、高齢者福祉施設及び子育て支援に関するサービス機能(施設)を集約することが出来たことから、より一層身近で、効率的に利用できる福祉・子育て支援サービスの展開が可能な拠点が形成された。	目標値として設定した「安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合」が計画期間中に減少傾向にあり、目標達成には至らなかった。市街地再開発事業により創出された子育て支援サービスの拠点を活用した、子育てサポートや保育サービスの充実を図り、子育てを支援する必要がある。	市立図書館と書店などが入居する複合施設を中心として、国内屈指の音響施設を誇る「音楽ホール」を有する文化センター、東北歴史博物館、特別史跡多賀城跡・廃寺跡及び歌枕の地等を結ぶ歩行者ネットワーク等の整備、案内所や観光ガイドの設置等の来街者に対するおもてなしの体制強化が必要である。
幹線道路沿道を中心に商業施設の立地が進む一方、本市の産業としては総じて低迷する傾向にあるため、本市全体としての産業振興と就労機会の確保に向けて、まちに活気を与える新たな企業誘致や、多くの市民が日々利用する都市の中心である多賀城駅周辺に交流や賑わいの場として豊かな市民活力を支えていく拠点を形成し、都市機能の集積を高めていくことが求められている。	中心拠点区域に複合施設A棟として、市立図書館、カフェ機能付き書店、レストランの立地により、人の滞留、交流人口の増加等を見込むことが可能となり、交流や賑わいの場として豊かな市民活力を支えていく拠点が形成された。また、この拠点を中心として、多くの人が集い交流する場としての活用がはじまり、この拠点が立地する中心市街地には、市内だけでなく多くの来訪者が訪れるようになった。	まちづくりの効果を維持・向上させるため、引き続き周辺地区も含め、都市機能の集約を高めていくことが必要であり、企業の立地や投資を促進させるための仕組みや制度の活用が必要である。 また、多賀城駅土地区画整理事業が事業中であり確実な事業完了が必要であること、土地区画整理地内における都心居住を促進させる必要がある。	
鉄道や高速道路といった優れた広域的な交通利便性を活かしつつ、身近な公共交通の利便性向上を図っていくことにより、誰もが移動しやすい交通体系を構築することが求められている。	多賀城駅北口・南口駅前の歩行空間を整備することにより、街なみ景観にも配慮され、バリアフリー化された歩行空間となった。	-	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	複合施設の利用促進と利用満足度の向上	複合施設において提供している各種サービスについて、積極的な情報提供を行うとともに、定期的に改善活動を実施することで、施設利用の促進と利用者の満足度向上に努める。	・定期的な施設利用に関する満足度調査の実施 ・市民主体の誘客イベント補助事業
	まちの更なる魅力向上	駅周辺の交流人口増加のため、民間団体と連携し、これまでのイベントに加え、新たな賑わいのイベントが開催されるよう、多賀城駅周辺活性化事業を推進する。また、整備された空間を活用したまちづくり活動を支援することで、人づくりを行う。	・多賀城駅周辺活性化事業の推進 ・まちづくり活動の支援

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	子育てサポート・保育サービスの充実	平成28年に複合施設に移転した子育てサポートセンター(すくっぴーひろば)を地域の子育て拠点施設として、利用者の声を踏まえながら機能を充実させ、子育て家庭の孤立化を防ぎ、周囲の理解と協力を得ながら楽しく子育てが出来る環境作りを行う。	・子育てに関する情報提供・相談・支援体制の強化 ・子育て親子の交流の場と交流の促進 ・子育て支援者を対象とした研修・講座の開催 ・一時預かり保育の定員の拡充 等
	都市機能の集約化	中心市街地へ出店する事業者への初期投資に係る費用を補助する「商業機能集積補助金」の活用等により、駅周辺へ出店する事業者を増やし、駅周辺の利便性を高めることで、中心市街地の活性化を図る。 また、土地区画整理事業を確実に完了することで、都市基盤のさらなる強化を図り、居住環境の向上により街の魅力を高める。	・多賀城市商業集積補助事業 ・多賀城駅周辺土地区画整理事業
	文化交流拠点を核としたまちづくりの推進	観光案内板の設置により、文化交流拠点間を迷わずに目的地に行くことが出来る等、利便性が高まり、観光しやすいまちの創出に努める。 また、本地区は多賀城市景観計画において景観重点区域に指定されており、地域のデザインコンセプトとして『多彩な文化があふれる、「東北随一の文化交流拠点」にふさわしい景観づくり』、景観整備の基本方針として、『「文化」があふれ、誰もが気軽に「文化」を感じることができる雰囲気や環境の創出』、『本市の玄関口、中心市街地として多くの人々が住まい、集い、にぎわいのある景観形成』を図るとされ、これらの景観計画に基づく景観の創出を図る。	・観光案内看板整備事業 ・景観計画に基づく建築物の適正な誘導(建築物の色彩、形態、意匠、敷地内の緑化等) ・街なみ環境整備事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

--

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	多賀城駅周辺における利便性、快適性(道路、駅周辺)	%	14.3	H24	30.0	H27	確定	●	17.9	△	あり	●	→	平成30年2月	多賀城市まちづくりアンケートにおいて、実施する。	
							見込み				なし					
指標2	相談できる人がいる高齢者の割合	%	77.4	H23	80.0	H27	確定	●	86.4	○	あり	●	→	平成30年2月	多賀城市まちづくりアンケートにおいて、実施する。	
							見込み				なし					
指標3	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合	%	66.3	H23	70.0	H27	確定	●	64.6	×	あり	●	→	平成30年2月	多賀城市まちづくりアンケートにおいて、実施する。	
							見込み				なし					
指標4	中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合	%	2.0	H20	25.0	H27	確定	●	-	(評価できず)	あり	●	→			中心市街地活性化事業が休止となりアンケートが実施されない。
							見込み				なし					
指標5	図書館利用者(貸出者)数	人	89,350	H22	111,000	H27	確定	●	143,239	○	あり	●	→			
							見込み				なし					
その他の数値指標1	駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り換えのスムーズさ)	%	13.3	H21	/		確定	●	22.3			●	→			
その他の数値指標2	安心して子どもを育てられる環境が整っていると思う保護者割合(東田中、中央、留ヶ谷、伝上山地区)	%	69.0	H21	/		確定	●	74.2			●	→			
							見込み									
その他の数値指標3	多賀城駅周辺における歩行者数	人	15,373	H20	/		確定	●	22,805			●	→			
							見込み									
その他の数値指標4	中心市街地整備の満足度	%	9.6	H24	/		確定	●	20.2			●	→			
							見込み									

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価実施時に実務担当者に対するヒアリング、庁内会議を開催し意見交換を実施したことで、事務局の考えに偏らない評価活動を行うことができた。	事後評価実施時に開催するヒアリングや庁内会議では、積極的な意見交換ができるよう、実施・運営方法に配慮すべきであると考え。今後、交付金の活用による地区整備を行う場合には、中間評価を実施し、指標の到達状況のチェックを行い、必要に応じて目標値の変更を行うことが望ましい。
	うまく いかなかった点	「指標1. 多賀城駅周辺における利便性、快適性(道路、駅周辺)の満足度」「指標5. 中心市街地に関して「にぎわい」を感じる市民割合」について、今回行わなかった中間評価を実施することにより、目標値の補正ができた可能性がある。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・社会資本総合整備交付金(中央公園の整備) (実施期間:平成28年度～平成32年度)、
 ・社会資本総合整備交付金(安全・安心なまちづくり) (実施期間:平成28年度～平成32年度)
 が実施中である。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成29年2月24日(金)～3月9日(木)	同左	担当課への提出 郵送、ファックス、電子メール	多賀城市建設部 都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	多賀城市建設部都市計画課 窓口にて縦覧	平成29年2月24日(金)～3月9日(木)	同左		

住民の意見	特に無し				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	柳井 雅也氏 (東北学院大学教養学部地域構想学科教授)	平成29年3月14日(火)	多賀城市建設部 都市計画課	社会資本総合整備計画 評価委員会設置要綱	-
その他の委員	伏谷 修一氏(多賀城市建設水道常任委員会委員長) 関山 嵩氏(新田中区長) 加藤 則博氏(TAP多賀城事務局長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	意見なし
	成果の評価	・まちが完成して間もないため、一部の数値指標の達成度が限定的になった可能性があるが、今後、人が集まるようになると、数値指標が上がってくると思う。 ・市民まちづくりアンケートが、施設が完全に完成した状況でない時期に実施されているため、評価が低くなる可能性があると思う。
	実施過程の評価	意見なし
	効果発現要因の整理	意見なし
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案は、市民にわかりやすく公表されたことが確認された。
	その他	利用者の立場から、事業の実施によって利便性の向上が認められたと体験的な部分で発言があった。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・回遊性とにぎわいづくりを考えていくこと ・商業空間、空き地及び南口広場の利活用を通じて、拠点性を高めていくことを考えていくこと ・空間施策のみならず、人づくりも考えていくことが確認された。
	フォローアップ	意見なし
	その他	意見なし
その他	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であると確認された。
その他		本事業によって整備された施設は地域の住民の利用だけでなく、全市的な施設であり、今後大いに利用することが重要である。長く利用が続くために、地元の住民が盛り上げていくことが重要である点、発言があった。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。